

防災訓練で担架に乗せられるの、いやだわ。

わたしたち、お役に立ちたいのよ

えっ?!



シニア・女性の力は 地域防災に もっともっと生かせます

【シニア女性の出番です! 防災塾】護身術のひとこま。
「大きな声を出すのが重要ね」。参加者は86歳まで。

「フォーラム
南太田」に
お手伝いさせて
ください!

なぜならシニア女性は

- ◇地域の人や暮らしをとてーもよく知っている
- ◇日頃から近所の見守りやお世話役が得意な人が多い
- ◇8割の人が「災害時に近所に声かけできる」と答えてる*

* フォーラム南太田の調査による

 フォーラム南太田

(公財)横浜市男女共同参画推進協会・横浜市市民局

女性の安心・安全は みんなの安心

東日本大震災後に改定された国の防災基本計画では「避難所運営や仮設住宅のコミュニティ運営への女性の参画」「避難所における女性用物干し場や授乳室の設置、女性専用物資の女性による配布」などが盛り込まれています。でも、計画を実際に生かしていくのは住民の力。とりわけ、地域の人たちや暮らしをよく知っていて、信頼されている女性の力は大きいです。その力をぜひ生かしてと、2012年秋に実施した防災塾のレポートをお届けします。



『災害時におけるシニア女性の行動と意識に関する調査報告書』

※当協会のホームページからダウンロードできます。

フォーラム南太田では2011年夏、南区老人クラブ連合会の協力を得て、高齢化率の高い横浜市南区で「3月11日」を経験した65歳以上の女性、約900人にアンケート調査を行いました。その結果、シニア女性は地域の見守り役としての意識を持ち、行動をしていることがわかりました。そこで、この力を防災により生かしていくたとえと2012年秋、企画・実施したのが「シニア女性の出番です! 防災塾」です。

「シニア女性の出番です! 防災塾」プログラム

第1回

- 「YOKOHAMAわたしの防災力ノート」の試み
- 東日本大震災における女性支援に取り組んで～仙台からの報告

第2回

- 横浜市南区の防災地図を読む
- まち歩きと点検のチェックポイント

第3回

- 東日本大震災「災害・復興時における女性と子どもへの暴力」に関する調査報告
- 護身術ミニ体験!

第4回

- 相談力向上!～共感的理解と、相談を受ける人もえつき防止
- 役立つ情報提供・相談機関紹介

第5回

- 女性が安心な地域づくりと防災を考える

1

東日本大震災で役に立った、女性から女性への支援



避難所での生活は大変なストレス。女性が積極的に運営にかかわって、弱者が配慮された安心な場所にしたいですね。

●東日本大震災後、被災女性の語り合いサロンや、洗濯代行などのしづみ作りに取り組まれた、宗片恵美子さん（イコールネット仙台）

■ 解決すべき、避難所でのストレスいろいろ

- 「生理用ナプキン1個（！）や下着など、男性リーダーから渡される」
- 「送られてくる下着が小さくて合わない」
- 「男性にはがれき処理で報酬があるが、何百人分もの食事3食を被災女性たちが調理室で缶詰状態で作る、しかも無償」
- 「更衣室や間仕切り、男女別の物干し場がなく、着替えや洗濯が苦痛」
- 「授乳室がなくて母乳が止まり、ミルクを作るにもきれいなお湯がない」
- 「しごとに通うのに子どもを預かってくれるところがない」

2

防災地図を読み、危険な箇所と実際に点検するポイントを確認

地域防災拠点、ござんじですか？
区役所ではさまざまな防災地図を配布しています。

●南区総務課危機管理担当係長（消防士）による情報提供



家族で、地域で、防災ウォーキングをぜひ。地図を持って。90分程度。いつも通る道で、災害時に危険な場所はないですか？

●神奈川災害ボランティアネットワークで活動する、講師の高松清美さん



「うちの近所には崖があって心配なのよ」「寝たきりの方が町内のここにいらっしゃる…」「町内で生きた情報をマップにしないとね」



3

災害時に「女性の安全」を守る意識を みんながもつことが大切

被害者が相談することで、暴力は目に見えるものになりますね。相談しやすい環境とよい聴き手が必要です。

●ゆのまえ知子さん（東日本大震災女性支援ネットワーク）



■ふるわれた暴力の形態

東日本大震災「災害・復興時における女性と子どもへの暴力」に関する調査
※伝聞事例などを除き、震災との関連の有無を精査した82事例

(複数回答)	夫・恋人による暴力(DV)	DV以外の暴力
身体的暴力	23 (人)	4 (人)
ことばによる暴力	38	7
精神的・心理的暴力	30	8
強姦・強姦未遂など、同意のない性交の強要	6	9
身体接触のあるわいせつ行為 (痴漢行為など、望まない性行為)	1	12
その他の望まない性的な行為(覗き、性器露出など)	2	6
性的なことばによる攻撃や嫌がらせ(ハラスメント)	2	3
経済的な暴力	18	1
ストーキング(ストーカー行為)	6	4
ケガ	13	4

(実施：東日本大震災女性支援ネットワーク 作成：吉浜美恵子)

護身術ミニ体験



被害にあうのは若い女性だけではありません。自分の身は自分で守る!

★護身術の動画記録(38分)あり。インターネットで、見ながら練習できます。
<http://youtu.be/C6KV1Hv1yxM>

防災 護身術

検索

参加者の声

人のつながりを何とか強くしたい。男女共同参画実行の時代であると実感しました。(76歳)

引っ込みがちでしたが、シニア力、女子力を生かしていこうって元気が出ました。(65歳)

高齢なので受講しても無理かと思いましたが、まだ知恵が出せるかも。お役に立ちたいですね。(82歳)

防災・減災に女性の力がどれだけ必要かがわかりました。護身術では「大きな声を出す」が重要ですね。(68歳)



4

地域の方の聞き役である女性の相談力向上には 「自分を知る」「相談先の情報を知る」ことが大切

自分のタイプやくせを点検しましょう。地域の相談役の方は、相手に安心感を与える聴き方ができるといいですね。性被害などを受けた方に「なぜ××したの?」等、相手が責められたように感じる言葉はNGです。



●大学ハラスメント相談員でカウンセラーの稻邑恭子さん



●フォーラムの職員より役立つ相談機関を紹介

■ 役立つ情報提供・相談機関の一例

- 【横浜市コールセンター】◇664-2525 年中無休
- 【南区福祉保健センター】DVや虐待(児童、高齢者、障がい者)の相談
- ◇子ども・家庭支援相談 743-8266
- ◇福祉保健相談係 743-8213
- 【中央児童相談所】◇260-6510
- 【南警察署】◇742-0110 ストーカーやDVの相談
- 【神奈川県警察】
 - ◇女性・子どものための電話相談 651-4473
 - ◇性犯罪被害 110番 681-0110
- 【法テラス神奈川(日本司法支援センター)】
 - ◇050-3383-5360 相続、離婚、借金、労働、犯罪被害などに関する無料法律相談の問合せ
- 【男女共同参画センター横浜(フォーラム)】
 - ◇心とからだと生き方の電話相談 871-8080
9:00~16:00 (第4木曜以外毎日) 18:00~20:00 (月・金)
※災害時は女性のための生活相談窓口となります。
- 【横浜市DV相談支援センター】
 - ◇671-4275 月～金曜 9:30～12:00、13:00～16:30
 - ◇865-2040 月～金曜 9:30～20:00 (第4木曜除く)
土・日・祝日 9:30～16:00

5

女性が安心な地域づくりに欠かせない シニア女性の力

横浜市の防災計画(右記)は女性の視点もしっかりとっています。地域の人をよく知る女性が動けば、みんなの安全が守れますね。実際に地域の避難所の運営を想定したルール作りに、男女いっしょに取り組めたら。



●阪神大震災後から支援活動を重ねてきた浅野幸子さん(東日本大震災女性支援ネットワークコーディネーター)



★東日本大震災女性支援ネットワーク発行
(同ネットワークのホームページからダウンロードできます)

■ 横浜市防災計画 震災対策編(2013年改定)より抜粋 「男女のニーズの違いへの配慮」(総則)

過去の震災時には、育児、介護、家事などの家庭的責任が増大し、その責任が女性に集中したり、女性や子どもをねらった犯罪が増加したり、さまざまな問題が明らかになっています。そのため、固定的な性別役割分担意識をなくし、方針決定過程や地域活動への女性の参画を促進するなど防災対策に、男女共同参画の視点を取り入れ、本防災計画のすべての事項を通して男女のニーズの違いへの配慮を行います。

(1) 男女共同参画の視点を取り入れた防災体制の確立
防災対策に関する方針決定過程への女性登用の重要性を認識し、検討部会、防災会議、企画立案部署等への女性の登用を積極的に行います。

(2) 女性・子どもへの暴力防止対策、避難所運営等における男女のニーズの違いに対する配慮
女性が安心して着替え・授乳などができる女性専用スペースの確保、周囲に気がねなく子どもを遊ばせられるスペースの確保、安全に配慮したトイレの設置、防犯パトロールの実施など(後略)。

(3) 男女のニーズの違いに配慮した防災教育の実施、女性リーダーの育成
男女のニーズの違いに配慮した防災教育の実施、女性向けの防災知識の普及啓発などにより、男女のニーズの違いに配慮した地域防災活動を推進するとともに、女性リーダーの育成を行います。

フォーラム南太田でお手伝いできること

● 女性の力と視点を生かしたミニ「防災塾」の地域開催

第1回～第5回のテーマから必要なものを選べます。

● 昔の地図や、ツイッターなど情報ツールを活用した「減災サロン」の地域開催(写真右下)

学校・地域防災拠点等に出前できます(NPO法人シャーロックホームズとの協働企画)。

● 「YOKOHAMA わたしの防災力ノート」を活用した地域出前学習会(写真下・中央)

自治会・町内会・PTA等でも開催しています!

※当協会のホームページからダウンロードできます。



フォーラム南太田

男女共同参画センター横浜南
(元 横浜市婦人会館)

URL: www.women.city.yokohama.jp

住所: 〒232-0006 横浜市南区南太田1-7-20

電話: 045-714-5911

交通のご案内:

- 京急「南太田」下車 徒歩3分
- 横浜市営地下鉄「吉野町」下車 徒歩7分

指定管理者: 公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会

※15人～100人規模の貸し会議室・生活工房・トレーニング室・資料室・交流ラウンジ・カフェ等を利用できます。

みなさまの地域活動の場としてご活用ください。お問合せはお気軽にどうぞ(9:00-21:00)。

